

## 「岩手県立大学及びその周辺における環境情報の整備等に関する研究」

研究代表者 渋谷 晃太郎（総合政策学部、教授）、研究参加者 平塚明（総合政策学部、教授）、金子与止男（総合政策学部、教授）、佐野嘉彦（総合政策学部、教授）、島田直明（総合政策学部、准教授）、辻盛生（総合政策学部、准教授）、鈴木正貴（総合政策学部、講師）

### <要旨>

本研究では、岩手県立大学及びその周辺における、大学内外の植物、ビオトープ池の生物、水質、滝沢市内の外来植物の分布、野鳥など様々な環境情報、学部紀要「総合政策」における環境系論文の収集整理を行い、大学周辺の環境情報の一元化をめざした（一部継続中）。また、その過程で得られた知見等について学部公開講座を開催することにより市民に公開、情報提供した。

### 1 研究の概要

本研究は、開学20周年を契機として20年間にわたる大学及びその周辺の環境に関する情報を取りまとめ、アーカイブとして記録整理することによって、過去の大学周辺の環境変化等を確認するなど大学周辺における環境研究の基礎となる情報基盤を構築した。また、その成果の一部について学部公開講座を開講し一般市民に公開した。

### 2 研究の内容

#### (1) 県立大学およびその周辺の環境情報の収集

①植物（樹木） 植栽樹の位置の確認を行いGISデータとしてとりまとめた。さらに県立大学にある様々なアート作品（彫刻、絵画等についても、大学の環境の一部として過去のデータを収集するとともに新たな情報の収集を行った

#### ②環境データの収集・整理・解析

- ・大気環境：設立時から蓄積されている気象データを入手した。
- ・水質環境：ビオトープ池の水質測定、外来種アメリカザリガニの分布調査等を実施した（継続中）。
- ・生物分布調査 滝沢市民によるいきもの調査（外来集オオハンゴンソウの分布）を実施した（継続中）。
- ・大学内の野鳥の生息状況について継続して調査を行った（計画中）。
- ・県立大学に隣接する森林公園に生育する多年草ヤマシャクヤクとフタリシズカについて、動物散布の可能性を検証した（継続中）。

#### ③文献情報の整備

- ・学部紀要である「総合政策」の論文目次をデジタル化し整理するとともに、環境関連文献の抽出を行った。

#### (2) 学部公開講座の実施

学部公開講座を2回開催した。その内容は以下のとおり。

##### 第1回公開講座

日時、場所 2016年11月20日 岩手県立大学講堂  
講座の内容

「十和田八幡平国立公園のこれからを考える」

一十和田八幡平国立公園 八幡平地域指定60周年記念-第2回公開講座

日時、場所 2017年3月20日 共通101講義室

講座の内容「いわての野鳥・最近の鳥事情」

ー地球温暖化、鳥インフルエンザ等ー

### 3 これまで得られた研究の成果

本研究においては、岩手県立大学及びその周辺における環境情報について、一部ではあるが取りまとめることができた。特に調整池で外来種のアメリカザリガニが繁殖していることが明らかとなった。また、学部公開講座については、十和田八幡平国立公園の指定80周年を記念するものとなり、鳥に関しては、折からの鳥インフルエンザの発生にあわせ、時宜を得たものとなった。



写真 調整池で繁殖が確認されたアメリカザリガニ



写真 第2回学部公開講座

### 4 今後の具体的な展開

今後成果について適宜HP等により公開する予定